

使徒継承

首召者聖アンデレから現在に至る

この継承の系譜に連なる

主教*

Garland F. Byers, Jr., J.D., D.D.‡

諸国民への主教、使徒的委任のもとに

1. 聖アンデレ、首召者、使徒、殉教者 CO

紀元30年頃キリストに召された

聖書に名が記されている：最初にキリストに従い、兄弟シモン・ペテロをみもとに連れて来た者（ヨハネ伝福音書1:40–42）。十二使徒の一人に名を挙げられる（マタイ伝福音書10:2）

この使徒継承の系譜は、紀元30年頃の使徒アンデレから今日にまで及び、2026年現在で1,996年にわたる。

聖アンデレからモスクワ府主教聖 Vladimirに至る継承は、コンスタンティノープル全地総主教庁およびロシア正教会が保持する主教名簿に従っている。これらは、正教会が自らの使徒継承を首召者聖アンデレにまでたどるのと同じ名簿である。

主教職への聖別は、以下に名を挙げる諸教会を通じて、一人から次の一人へと行われた。

この系譜の主教の中には、聖人としても崇敬されている者がいる。その名の傍らの印は、生涯の聖性のみにかかわる。それはいかなる聖別の有効性にもかかわらない。聖人として崇敬されているか否かにかかわらず、表に挙げたすべての主教は、継承において等しくその位置を占めている。

聖 聖人：英雄的な聖性の生涯を送り、今は神のもとにある者として教会が公に崇敬し、その記憶を暦において記念する人。初代教会では、聖

人は信徒とその主教たちの称賛によって認められた。のちには、ローマ・カトリック教会では正式な列聖によって、正教会では列聖（glorification）によって認められるようになった。

福者 福者：ローマ・カトリック教会において、列福された人。列福は聖人としての列聖に先立つ正式な段階である。

C ローマ・カトリック教会により聖人または福者として崇敬されている。

O 正教会により聖人として崇敬されている。

CO ローマ・カトリック教会と正教会の双方で聖人として崇敬されている。

赤 殉教者：信仰のために命をささげた者。

誰が聖人であるかについて、諸教会の見解は常に一致するわけではない。ある教会が、他の教会が崇敬しない人を崇敬することもあり、印はそれぞれの聖人をどの教会が崇敬しているかを示している。

コンスタンティノープル

ビザンティウム、のちのコンスタンティノープルの主教座。首召者聖アンデレをその創立者とする。総主教たち、聖アンデレが叙任した聖スタキスから、Nicholas II Chrysobergesまで。その時代に、最初のキーウ府主教が、新たに洗礼を受けたルーシの民のもとへ遣わされた。

2. 聖スタキス CO 38
3. Onesimus 54
4. Polycarp I 69
5. Plutarch 89
6. Sedecion 105
7. Diogenes 114
8. Eleutherius 129
9. Felix 136
10. Polycarp II 141
11. Athenodorus 144
12. Euzois 148
13. Laurence 154
14. Alypius 166
15. Pertinax 169
16. Olympianus 187
17. Mark I 198
18. Philadelphus 211
19. Cyriacus I 214
20. Castinus 230
21. Eugenius I 237
22. Titus 242
23. Dometius 272
24. Rufinus I 284
25. Probus 293
26. 聖 Metrophanes CO 306
27. 聖 Alexander CO 314
28. 聖パウルス1世 CO 殉教者 337

29. Eusebius 339
30. Macedonius I 342
31. Eudoxius 360
32. Evagrius 370
33. Demophilus 370
34. ナジアンゾスの聖グレゴリオス CO 379
35. 聖 Nectarius CO 381
36. 聖ヨハネス・クリュソストモス CO 398
37. Arsacius 404
38. 聖 Atticus CO 406
39. Sisinnius I 426
40. Nestorius 428
41. Maximian 431
42. 聖 Proclus CO 434
43. 聖 Flavian CO 殉教者 446
44. 聖 Anatolius CO 449
45. 聖 Gennadius I CO 458
46. Acacius 472
47. Fravitta 489
48. Euphemius 490
49. Macedonius II 496
50. Timothy I 511
51. John II 518
52. Epiphanius 520
53. Anthimus I 535
54. 聖 Menas CO 536
55. 聖 Eutychius CO 552
56. John III 565
57. 聖 John IV CO 582
58. Cyriacus II 596
59. Thomas I 607
60. Sergius I 610
61. Pyrrhus 638
62. Paul II 641
63. Peter 654
64. Thomas II 667
65. John V 669
66. Constantine I 675
67. Theodore I 677
68. George I 679
69. Paul III 688
70. Callinicus I 693
71. Cyrus 706
72. John VI 712
73. 聖 Germanus I CO 715
74. Anastasius 730
75. Constantine II 754
76. Nicetas I 766
77. 聖 Paul IV CO 780
78. 聖 Tarasius CO 784
79. 聖 Nicephorus I CO 806
80. Theodotus I 815
81. Anthony I 821
82. John VII 837

83. 聖 Methodius I [CO] 843
84. 聖 Ignatius [CO] 847
85. 聖 Photius [O] 858
86. Stephen I 886
87. Anthony II 893
88. 聖 Nicholas I [CO] 901
89. Euthymius I 907
90. Stephen II 925
91. Tryphon 928
92. Theophylact 933
93. Polyeuctus 956
94. Basil I 970
95. Anthony III 974
96. Nicholas II 984

キーウ

キーウおよび全ルーシの府主教たち（その最初の者はコンスタンティノープルから遣わされた）から、府主教座をモスクワに移した聖 Peterまで。

97. 聖 Michael [O] 988
98. Leontius 992
99. John I 1008年頃
100. Theopemptus 1037
101. 聖 Hilarion [O] 1051
102. Ephraim 1055
103. George 1062
104. John II 1077
105. John III 1089
106. Nicholas 1097
107. Nicephorus I 1104
108. Nicetas 1122
109. Michael II 1130
110. Clement 1147
111. Constantine I 1156
112. Theodore 1161
113. John IV 1164
114. Constantine II 1167
115. Nicephorus II 1182
116. Matthew 1201
117. Cyril I 1224
118. Joseph 1236
119. Cyril II 1247
120. Maximus 1283
121. 聖 Peter [O] 1308

モスクワ

モスクワの府主教および総主教たち、ならびに、ロシア教会が聖シノドによって治められた18世紀以降は、モスクワの大主教および府主教たち。聖 Vladimirまで。

122. Theognostus 1328
123. 聖 Alexius [O] 1354
124. 聖 Cyprian [O] 1381
125. 聖 Photius [O] 1408
126. Isidore 1437
127. 聖 Jonah [O] 1448
128. Theodosius 1461
129. Philip I 1464

130. Gerontius 1473
131. Zosimus 1490
132. Simon 1495
133. Barlaam 1511
134. Daniel 1522
135. Joasaph 1539
136. 聖 Macarius [O] 1542
137. Athanasius 1564
138. 聖 Philip II [O] 殉教者 1566
139. Cyril 1568
140. Anthony 1572
141. Dionysius 1581
142. 聖 Job [O] 1587
143. 聖 Hermogenes [O] 殉教者 1606
144. Philaret 1619
145. Joasaph I 1634
146. Joseph 1642
147. Nikon 1652
148. Joasaph II 1667
149. Pitirim 1672
150. Joachim 1674
151. Adrian 1690
152. Joseph (Volchansky) 1742
153. Platon (Malinovsky) 1748
154. Timothy (Shcherbatsky) 1757
155. Ambrose (Zertis-Kamensky) 1768
156. Platon (Levshin) 1775
157. Augustine (Vinogradsky) 1818
158. Seraphim (Glagolevsky) 1819
159. 聖 Philaret (Drozdov) [O] 1821
160. 聖 Innocent (Veniaminov) [O] 1868
161. Macarius (Bulgakov) 1879
162. Joannicius (Rudnev) 1882
163. Leontius (Lebedinsky) 1891
164. Sergius (Lyapidevsky) 1893
165. 聖 Vladimir (Bogoyavlensky) [O] 殉教者 1898

アメリカ合衆国

1904年にモスクワで主教に聖別され、のちにアリューシャンおよび北アメリカの大主教となったEvdokim以降、各主教はその前に挙げられた主教によって聖別された。

166. Evdokim (Meschersky) 1904
167. Aftimios (Ofiesh) 1917
168. Sophronios (Bishara) 1928
169. John Chrysostom (More-Moreno) 1933
170. Perry Nikolaus Cedarholm 1949
171. Nils Bertil Alexander Persson 1971
172. Samuel Guido, Jr. 2004

173.

Garland F. Byers, Jr.

2013

聖職

按手

2008年8月17日、按手により。ペンシルベニア州パーマートンのSt. Paul's Lutheran Orthodox Chapelにて。

主教聖別

2013年4月20日、聖餐の執行の中で按手により。St. Paul's Lutheran Orthodox Chapel（この日はペンシルベニア州スラティントンのAmerican Legion Post 16で集会）にて。

主聖別者

主教 Samuel Guido, Jr.

共同聖別者

Bradley A. Varvil 主教

Michael Byus 主教

James Thompson 主教

按手および主教聖別の証書は、主教聖別の写真とともに、主教についてのページに掲載されている。

奉仕

2013年4月20日、Lutheran Orthodox Church, Inc. において主教聖別を受け、その後同団体において Western North Carolina 教区の大主教を務めた。バイヤーズ主教は現在、同団体に所属していない。

名誉神学博士（honoris causa）、Lutheran Orthodox Church, Inc. より授与、2013年4月20日。



本ページの日本語の聖句は、すべて文語訳聖書（旧約：明治元訳、1887年／新約：大正改訳、1917年、日本聖書協会）から引用しています。いずれもパブリックドメインです。本文：ウィキソース。聖句は抜粋して引用しており、省略箇所は「……」で示してい

ます。

聖アンデレのイコン、板にテンペラ、金箔、ギリシャ北部、14世紀。Walters Art Museum、ボルチモア（37.559）、Wikimedia Commons経由。同美術館によりパブリックドメインとして公開。原画からサイズ変更を施した。